

FALCON 501

取扱説明書



V1.01

本機を正確に使用するため、使用前に本説明書を必ずご覧いただき、内容をご理解ください。本説明書を通して、製品の使用方法と注意事項を一通り把握することができます。

注意事項

- ・ 本製品はネットワーク接続が必須です。製品の対応通信タイプによるネットワーク環境構築が完了していることを確認してください
- ・ 強い振動を避けてください、故障の原因になります
- ・ 本製品は雨などに対応する防水仕様ですが、水没には対応していません
- ・ 一度稼働したデバイスを長時間使用しない場合はデバイス休眠操作を行ってください

目録

付属物	-----
製品概要	-----
製品規格	-----
製品外観	-----
製品を設置する前に	-----
状態と操作	-----
LED状態	-----
サポート・問い合わせ	-----

付属物

製品包装内に下記のものがあることを確認してください。

FALCON 501	1台
使用説明書	1部

※ FALCON 501に使用する取付治具は別包装になります。販売店にご確認ください。

製品概

本製品は工場の遠隔自動検針及び点検サービスを対象に、後付の形でユーザーの既存の機械式計器をスマート化を実現し指針値を自動収集できる通信機器となります。組込AIを使うことで、クラウドを使用せずにFALCON 501本体内で画像データから検針値を符号化し、読取った数値は「Cat. M1/ BLE/ WiFi」などの通信規格を利用してサーバーに送信します。FALCON 501本体に学習済みAIモデルを移植させると、産業用設備点検の自動化・自律化のみならず、商業施設での人数カウンターや行列感知、空席感知、在庫確認の自動化、福祉施設での人物追跡、行動検知など様々な場面で活用していただけます。

製品規

本体寸法：H105×W74×D32mm

重量：約150g

使用温度：-20℃～65℃

使用湿度：0% RH～85% RH

保管温度：-40℃～70℃

保管湿度：5% RH～95% RH

電池：リチウム電池

※ 電池交換可

電池寿命：10年

検針（撮影）回数：10万回

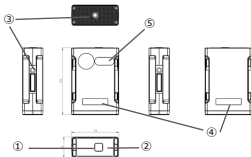
保存検針データ（画像）枚数：TBD

防水防塵等級：IP66

稼働時間：1日3回の検針の場合8年間

※ 連続稼働時間はお客様の使用条件（外気温、電波状況、検針間隔、画像送信有無等）によって異なります

製品外



- ① 操作ボタン（STARTボタン）
- ② 状態LED
- ③ カメラ固定ネジ（1/4インチ）
- ④ 生産S/N番号
- ⑤ 撮影用LED

製品を設置する

STEP 01

導入前作業

STEP 02

計測対象メーター
とのペアリング

STEP 03

本体設置

STEP 04

クラウドアプリより制御

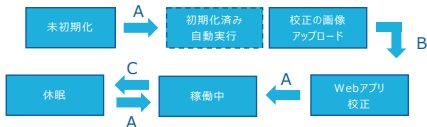
A Smartを利用することにあたって、導入前作業、計測対象メーターとのペアリング、FALCON 501本体設置、クラウドアプリケーション制御、確認などいくつかの基本手順があります。

本説明書は終端デバイスの操作説明にフォーカスしており、導入前作業、メータペアリング作業などは本説明書では割愛します。

詳細の作業手順や、技術資料はWebアプリのマニュアルをご覧ください。

状態と操作

製品には下記の動作状態があります。特別に処置をしてない場合、初期状態は「未初期化」になります。



システムにて、行える操作の一覧。

- ①：コマンド待機 ※1
- ②：手動検針 (A)
- ③：Webアプリ校正 (B)
- ④：撮影用LED照射
- ⑤：ボタン操作ロック/アンロック
- ⑥：休眠 (C)

「未初期化」で行える操作：①②④⑤⑥

「初期化済み」で行える操作：①②③④⑤⑥

「稼働中 ※2」で行える操作：①②③④⑤⑥

「休眠」で行える操作：①②③④⑤⑥

※1 コマンド待機は①初期化以外の全操作の前提操作になります。

※2「稼働中」はWebアプリにより設定された検針方式で自動検針を行います。

① コマンド待機

■ デバイスの状態をご確認ください。

- ・ ヘアリング済みであること
- ・ LEDが消灯状態であること

■ 下記の操作を行ってください。

- ① STARTボタンを一回押し
- ② デバイスが緑点灯（コマンド待機状態、5秒操作がないと消灯）

② 手動検針

校正・手動検針操作と合併 / 初期化は初回手動検針のみ実行

【この動作はネットワークを接続する必要があります】

■ デバイスの状態をご確認ください。

- ・ ヘアリング済みであること
- ・ LEDが消灯し、アンロック状態であること

■ 下記の操作を行ってください。

- ① コマンド待機状態に入る（本ページを参照）
- ② STARTボタンを一回押し、緑点滅に入ることを確認（手動検針を実行中）
- ③ 処理が成功したことを確認（処理結果の見方はページ13のLED状態を参照）

※ 処理成功後、Webアプリにより検針結果を確認することができます

【この動作はネットワークに接続する必要があります】

■ デバイスの状態をご確認ください。

- ・ ヘアリング済みであること
- ・ LEDが消灯し、アンロック状態であること

■ 下記の準備が必要です。

- ① 本製品の指定Webアプリにログインしてください
- ② 「検針結果」ページにデバイス一覧で、対応のデバイスがあることを確認
- ③ デバイス一覧の「操作」部分から、「校正」パネルを開く

■ 下記の操作を行ってください。

- ① 手動検針を一回実施してください（ページ9を参照）、「校正」パネルは画像転送中
- ② 画像の転送成功を待つ（数分掛かる場合があります）
- ③ 転送成功したら、Webアプリにより校正操作を実行（数字領域のマークと初期値の入力）
- ④ 手動検針を再一回実施してください（ページ9を参照）

※ **メータ表面が反射、汚れなどで破壊されていないことを確認してください。数字が判別しにくい画像の場合、位置調整後に再度の校正作業が必要となります。**

④ 撮影用LED照射

■ デバイスの状態をご確認ください。

- ・ LEDが消灯状態であること

■ 下記の操作を行ってください。

① コマンド待機状態に入る（ページ9を参照）

② STARTボタンを2秒間長押し、デバイスの撮影窓口から撮影用LED照射が行われます

⑤ ボタンロック/アンロック

【この動作はネットワークを接続する必要があります】

■ デバイスの状態をご確認ください。

- ・ LEDが消灯状態であること

■ ボタンロック/アンロックの操作手順は同じです。下記の操作を行ってください。

① コマンド待機状態に入る（ページ9を参照）

② STARTボタンを7秒間長押し（途中で撮影LEDが点灯します）

③ LED状態が変化したことを確認（LED状態はページ13を参照）

※ ボタンロックの状態では、STARTボタンを押してもコマンド待機状態はありますが、点灯状態は緑点滅になります。他の操作を行うにはアンロックする必要があります。

⑥ 休眠

■ デバイスの状態を確認ください。

- ・ LEDが消灯状態であること

■ 下記の操作を行ってください。

- ① コマンド待機状態に入る（ページ9を参照）
- ② STARTボタンを15秒間長押し（途中で撮影LEDが点灯します）
- ③ 処理が成功したことを確認（処理結果の見方はページ13のLED状態を参照）

LED状態

- LEDが消灯状態で、STARTボタンを押した際に表示されるLEDの状態は下記の通りです
 - ・ 未初期化/休眠：緑長点滅（3回呼吸のようにゆっくり変化、2Hz頻度、6秒続く）
 - ・ コマンド待機：緑点灯
 - ・ ボタンロック（操作不可）：緑短点滅（0.25Hz頻度）
 - ・ 自動検針実行中（操作不可）：緑短点滅（6回点滅変化、0.25Hz頻度、3秒続く）
- 各処理実行時のLED状態：
 - ・ 手動検針：緑点滅（0.5Hz間隔）
 - ・ ネットワーク接続中：緑長点滅（5s間隔、手動検針のみ）
 - ・ 自動検針実行中：点灯なし
- 処理結果を表示するLED状態：
 - ・ 処理成功：緑長点滅（3回点滅変化、1Hz頻度、3秒継続後消灯）
 - ・ 処理失敗（ネットワーク接続失敗）：赤短点滅（4回点滅変化、0.25Hz頻度、2秒継続後消灯）
 - ・ 処理失敗（その他失敗）：赤長点滅（3回点滅変化、1 Hz頻度、3秒継続後消灯）

LED状態図示

点灯



消灯



■ 赤/緑点灯



■ 赤/緑短点滅、0.25Hz頻度



■ 赤/緑短点滅、0.5Hz頻度



■ 赤/緑長点滅、1Hz頻度



■ 赤/緑長点滅、呼吸のようにゆっくり変化、2Hz頻度



サポート・問い合わせ

本説明書の内容は2022年4月1日付版となります。これ以降の内容更新は販売店にお問い合わせください。

サポートへご連絡する前に、WebアプリのFAQをお読みください。

アシオット株式会社

東京都町田市森野1-36-2 セレステ町田 3F

MAIL: contact@asmart.ai



ASIOT Co., Ltd.